

令和7年度ネットリサーチ「歩行者に対する保護意識及び横断歩道における安全な交通行動」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 「横断歩道の手前で必ず停止する」(39.1%)、「横断歩道の手前で停止するときが多い」(37.9%)を合わせた【停止する】が77.0%となっている。一方で、「横断歩道の手前で停止しないときが多い」(8.3%)、「停止しないで通過する」(2.5%)を合わせた【停止しない】が10.8%となっている。
- 信号機のない横断歩道で停止しない理由については、「歩行者が横断するかどうか分からない」が34.3%で最も高く、「停止すると後続車に追突されたり、追い越されたり危険である」が21.6%と続く。

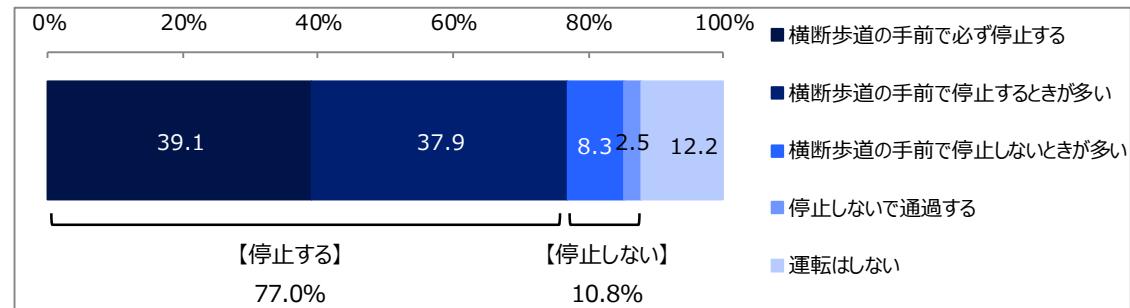
■調査結果の概要

1 信号機のない横断歩道での停止状況

- 「横断歩道の手前で必ず停止する」(39.1%)、「横断歩道の手前で停止するときが多い」(37.9%)を合わせた【停止する】が77.0%となっている。
- 一方で、「横断歩道の手前で停止しないときが多い」(8.3%)、「停止しないで通過する」(2.5%)を合わせた【停止しない】が10.8%となっている。

Q1.あなたは、車を運転しているときに、信号機のない横断歩道の近くに歩行者がいた場合、どうしていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
横断歩道の手前で必ず停止する	39.1	391
横断歩道の手前で停止するときが多い	37.9	379
横断歩道の手前で停止しないときが多い	8.3	83
停止しないで通過する	2.5	25
運転はしない	12.2	122



2 信号機のない横断歩道で停止しない理由

◆ 「歩行者が横断するかどうか分からぬ」が34.3%で最も高く、「停止すると後続車に追突されたり、追い越されたり危険である」が21.6%と続く。

(Q1で「横断歩道の手前で停止するときが多い」「横断歩道の手前で停止しないときが多い」「停止しないで通過する」と回答された方へ)

Q2.停止しないときの理由は何ですか。次の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	487
停止するのが面倒くさい	5.1	25
停止すると後続車に追突されたり、追い越されたり危険である	21.6	105
後続車がいないので、自分の車が通過後に横断した方が安全だと思う	17.2	84
自分が停止しても、対向車が止まらない	14.2	69
歩行者が横断するかどうか分からぬ	34.3	167
停止するのは格好が悪い	1.0	5
その他	6.6	32

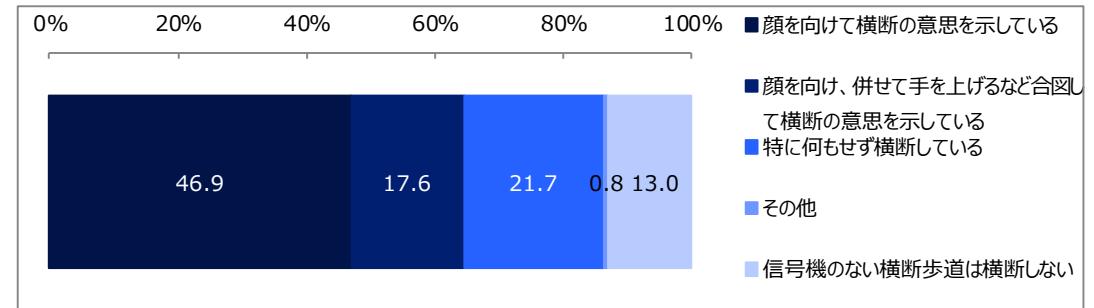


3 信号機のない横断歩道を渡る際の行動（横断前）

❖ 「顔を向けて横断の意思を示している」が46.9%の一方で、「特になにもせず横断している」が21.7%となっている。

Q3.あなたは、車両が行き交っている道路で、信号機のない横断歩道を横断しようとするとき、どのような行動をしていますか。「横断前」について、あてはまるものを1つ選んで下さい。

	%	n
全体	100.0	1000
顔を向けて横断の意思を示している	46.9	469
顔を向け、併せて手を上げるなど合図して横断の意思を示している	17.6	176
特に何もせず横断している	21.7	217
その他	0.8	8
信号機のない横断歩道は横断しない	13.0	130



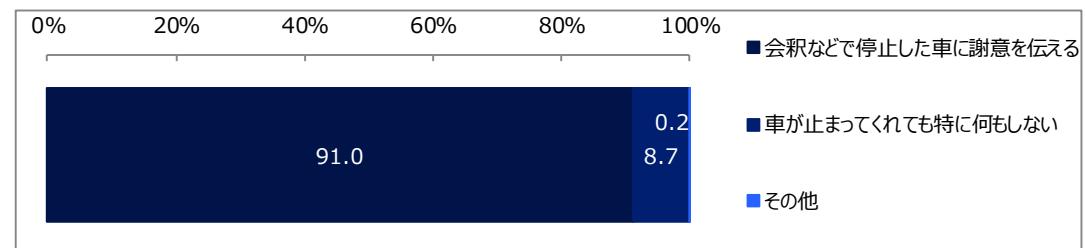
4 信号機のない横断歩道を渡る際の行動（横断中または横断後）

❖ 「会釈などで停止した車に謝意を伝える」が91.0%の一方で、「車が止まってくれても特になにもしない」が8.7%となっている。

(Q3で「顔を向けて横断の意思を示している」「顔を向け、併せて手を上げるなど合図して横断の意思を示している」「特に何もせず横断している」「その他」と回答された方へ)

Q4.あなたは、信号機のない横断歩道を横断しようとするとき、車が止まってくれた場合、どのような行動をしていますか。「横断中または横断後」について、あてはまるものを1つ選んで下さい。

	%	n
全体	100.0	870
会釈などで停止した車に謝意を伝える	91.0	792
車が止まってくれても特に何もしない	8.7	76
その他	0.2	2

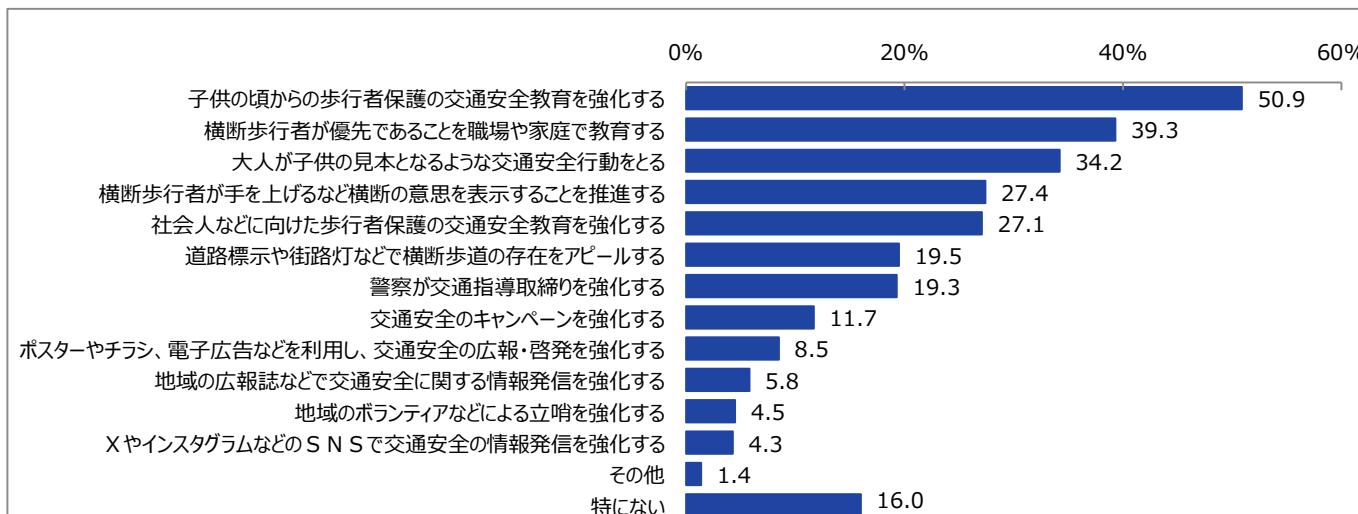


5 信号機のない横断歩道を安全に渡るための取組

- 「子供の頃からの歩行者保護の交通安全教育を強化する」が 50.9%、「横断歩行者が優先であることを職場や家庭で教育する」が 39.3%、「大人が子供の見本となるような交通安全行動をとる」が 34.2%と続く。

Q5.信号機のない横断歩道を歩行者が安全に横断するためには、どのような取組が効果的だと思いますか。次の中からあてはまるものを最大 5つまで選んで下さい。

	%	n
全体	100.0	1000
子供の頃からの歩行者保護の交通安全教育を強化する	50.9	509
横断歩行者が優先であることを職場や家庭で教育する	39.3	393
大人が子供の見本となるような交通安全行動をとる	34.2	342
横断歩行者が手を上げるなど横断の意思を表示することを推進する	27.4	274
社会人などに向けた歩行者保護の交通安全教育を強化する	27.1	271
道路標示や街路灯などで横断歩道の存在をアピールする	19.5	195
警察が交通指導取締りを強化する	19.3	193
交通安全のキャンペーンを強化する	11.7	117
ポスターやチラシ、電子広告などを利用し、交通安全の広報・啓発を強化する	8.5	85
地域の広報誌などで交通安全に関する情報発信を強化する	5.8	58
地域のボランティアなどによる立哨を強化する	4.5	45
XやインスタグラムなどのSNSで交通安全の情報発信を強化する	4.3	43
その他	1.4	14
特にない	16.0	160



■調査の目的

横断歩道の横断に関する運転者と歩行者の意識を調査し、今後の交通安全対策の参考資料とするため。

■実施概要

- 実施期間：令和7年10月17日～10月27日
- サンプル数：茨城県常住人口調査（令和7年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		108	248	92	365	187	1,000
性別	男性	56	127	49	189	99	520
	女性	52	121	43	176	88	480
年代別	18～29歳	16	42	16	71	34	179
	30歳代	15	42	16	61	29	163
	40歳代	21	53	19	80	40	213
	50歳代	28	61	21	86	44	240
	60歳代	28	50	20	67	40	205

県 北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県 央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿 行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県 南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県 西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

（注）

- 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
- 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
- 男性18～29歳の回収件数は、全ての地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「県北」1サンプル、「県央」3サンプル、「鹿行」2サンプル、「県南」15サンプル、「県西」10サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。